

【お寄せいただいた声】 アンケートでお寄せいただいた保護者の皆様の声をまとめました。

簡単ではありますが、お答えや現状も含めて記載しましたので、ご覧ください。

【学校生活全般、お便り等に関すること】

- ・いつもいろいろな支援をいただきありがとうございます。
- ・毎日楽しく学習し、活動しているようです。ご支援いただきありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。以前ほかの保護者の方とブログについて話したことがあり、毎日子供の様子やイベント、今日の給食は、子供との会話のきっかけになってありがたいです。
- ・子どもたちの学校での様子や給食の写真をすぐにブログにアップしてくれるので、1日何をしていたか知ることができて安心です。
- ・Home & School 学級だより upされるのが遅く感じます。
- ・マラソン大会の練習でたまたま聞こえた教員の指導の言葉が適切でなく乱暴で気になりました。
- ・購買で取り扱っているものを教えてもらえると助かります。
- ・複式の授業を見てみたい。
- ・集会で校歌を歌うことが減っていると聞きます。わたしたちが子どもの頃は毎週月曜日の朝礼で歌うことが慣例だったせいか、卒業して数十年経っても口ずさむことができます。もう少し歌う機会を増やし、校歌を伝統として大切に歌ってほしいと思います。
- ・あいさつ運動の参加者（保護者）が減っていると感じます。取り組みを強化した方がよいと思う。

○私たちに勇気をくださるようなお声をいただき、こちらこそありがとうございます。

○お便りやブログについて、記事の内容や写真の使い方に配慮しながら今後も発信してまいります。ぜひご覧ください。

○学級だよりを心待ちにしてくださり、ありがとうございます。学級だよりは週末に発行し、紙のたよりを子どもと担任で読んで共有してから持ち帰っています。保護者の中には、紙でのたよりを要望する方も多いです。ご家庭でお子さんと一緒に見てくださっているようです。

Home & School でのおたよりの配信は、携帯等でいつでもどこでも何回でも見ることができる利便性があります。12月までは、発行した次の週の月曜日に全校分一斉配信していました。今年1月より、発行した週末に担任から配信するようになりました。ご覧いただけますようお願いいたします。

○校外学習時も見守りや声かけをしてくださりありがとうございます。マラソン試走時に教員からの不適切かとも取れる声かけがあったと伺い、詳しくお聞きしました。がんばって走っているときに、さらにはがんばるよう強い言葉かけをしていて、聞いていても辛かったとのことでした。ただ、この保護者は、普段お子さんとよく学校のことを話していて、お子さんから「普段その先生は優しいし、いい先生だよ。」と教えてもらったとも伝えてくださいました。子どもがチャレンジしているときに最大限の力を発揮できるよう期待を込めて発破をかけるところがあると思います。しかし、私たち教職員の言葉のかけ方（言葉遣い）は子どもたちの手本となると考えていますし、荒い言葉でなく、明るく、元気が出る言葉がけをしていくことを共通理解し、指導等に当たっていきます。

また、今回子どもたちは私たちのことをよく見ていて判断してくれていることを改めて知りました。まだ小学生とはいえ一人の「ひと」として人格を重んじて対応することの大切さを実感しました。

○購買に品物とその価格については4月当初にお知らせすべきところでした。今後も、おつりのないよう準備いただけるとありがたいです。

○今年度、初めて複式による学級編成となり、当該学年の保護者の皆様も不安があったかもしれません。

学習では、2年生と3年生では教科が異なる（生活科と理科・社会、外国語活動、総合的な学習）場合や国語、算数は分かれて、技能教科と一緒にやることで効果が高いこと（音楽、図工、体育、道徳、学活）は2学年一緒に行ってきました。複式でやることでどちらの学年にもよい効果が見られることも多くあります。例えば、3年生は2年生に教えたり見せたりすることで、身に付けた知識や経験を確認なものにできます。何より、自分たちが1つ大きいという自負が、下の子の面倒を見たりがんばりのモチベーションになっていたりしていると思います。2年生は、1年後の自分たちのゆく道が見え、また助けてもらいながら安心して生活ができています。

複式の授業は、4月PTA総会日の参観授業で道徳、2学期保護者会参観授業で音楽がありました。これからもどんどん学校へ来ていただき、授業等様子をご覧ください。

○校歌を大人になってもロズさむことができるのは本当に素敵なことだと思います。本校では集会の数が多いこともあって、全校児童で歌う機会は少ないかもしれません。ただ、毎週月曜日朝の時間に各教室で校歌を歌っています。校歌を大切にすることは学校を大切にすることだと開校記念式の中でも話しました。校歌を歌う機会を少しでも増やせるよう検討していきます。

○年2回のあいさつ運動には出勤前のお忙しい中参加いただき感謝しております。子どもたちのあいさつはいかがでしょうか。保護者や地域の方と連携してあいさつのできる鹿の子を目指してまいります。

【その他、気がかりなことやご意見等について】

- ・普段の言動から何気なく友達を傷つけていないか心配。
- ・時々特定のお友達にいやなことをされて困ることがあるようですが、いやだというと先生や私たちに怒られると思っているようです。いやなことをされたらいやだと言っていいんだよと伝えておきました。
- ・机に「死ね」と書かれたことは事実なので重く受け止めて、「いじめ」の可能性を0と言えないのでいじめのない学校を目指してほしいです。
- ・今日の出来事を聞いても「楽しかった」としか答えない。しかし、後になってほかの保護者からトラブルの話を書くことがあった。思春期に入り子ども自身もいろいろ思うことはあると思うが、トラブルに発展したときに、一人ではなかなか解決できず長期化しており、心配。

○学校での人間関係について。当然ですが、本当に様々な子がいます。仲良くしたいのに、逆にちょっかいをかけてしまう子もいます。だからといって、嫌がらせや暴力が認められるはずがありません。毅然と、同時に親身に対応してまいります。加えて、特に「受けた側」の皆様からは、私たちの指導や対応が不十分に感じられることもきっとあるだろうと承知しています。そういう時には遠慮なさらず、他の児童のためにも、ぜひ学校に「生の声」をお届けください。よろしく願いいたします。

○毎日の生活の中でトラブルは起きます。その時に、回りの子や教員が適切に関わることで、むしろしゃした気持ちや辛さを家にまでもって帰ったり、次の日まで持ち越したりしないようにできるとよいと思います。トラブルは、誤解も含めて小さいうちに解決できるよう努めていきます。

◆困り事、心配事などもお教えくださり、ありがとうございます。

◆紙面の許す限り、できるだけ多くのご意見を掲載させていただきました。今後とも、よいことも言いにくいことも遠慮なさらず皆様のお声を学校へお届けください。真摯に受け止めさせていただきます、どの子どもにとっても、成長できる学校づくりに取り組んでまいります。